一　般　質　問（11月５日）

１　黒川　勝　議員（自由民主党）

市長選挙を振り返って新しい市政への決意、市役所の正常化と組織改革、経済成長と国際都市横浜の再構築、経済環境の変化等を踏まえた物価高騰対策、財政健全化と新たな財源の確保、公民連携による新しい都市経営、横浜市こども・子育て基本条例と子育て支援、高齢者施策の方向性、新たな地震被害想定調査結果を踏まえた防災・減災、エンターテインメント・文化・スポーツによる都市の魅力向上、横浜グリーンエクスポ、広域交通ネットワークの形成、市長の政治哲学と横浜の将来像

２　行田　朝仁　議員（公明党）

市長の政治姿勢、防災・減災対策の推進、救急体制の充実・強化、防犯対策と市民の安全、快適な公共空間の整備、教育環境の充実と教職員の働き方改革、中学校給食の充実、図書館機能の充実、子育て支援・保育環境の充実、障害者支援の充実、高齢者支援と認知症・介護施策の充実、行政サービスの充実、地域公共交通の維持・充実、カスタマーハラスメント対策の推進、多文化共生と外国人の定住支援

３　藤崎　浩太郎　議員（立憲民主党）

市政運営の方向性、都市計画マスタープランと都市デザイン行政、市民生活、住宅政策、企業誘致とスタートアップ支援、サーキュラーエコノミー、ハラスメントのない組織づくり、副市長のコンプライアンス問題、横浜グリーンエクスポ、瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドック、山下ふ頭の再開発、特別市の実現に向けて、中学校給食、個性ある区づくり、豪雨災害対策の推進、暑熱対策、社会的養護の充実、妊婦の睡眠の支援、図書館施策の推進

４　くしだ　久子　議員（日本維新の会）

市政運営の今後のかじ取り、ハラスメント対応、18区の特色を生かしたまちづくりにおける区役所機能の強化、サイバー攻撃への対応体制、歳出改革の取組、宿泊税、スタートアップ支援、中小企業の人材確保支援、共働き世帯の仕事と子育ての両立支援、共同親権、一人ひとりの教育的ニーズに応じた学びの充実、動物愛護、動物園の魅力向上、当選後の継続的な政策対話

５　二井　くみよ　議員（国民民主党）

財政健全化、防災対策、18区それぞれの個性を生かしたまちづくり、郊外部のまちづくり、いじめ対策（市長部局での第三者評価等）、障害児・者の対策（18歳の壁の解消）、高齢者対策（敬老パスの在り方、持続可能性）、喫煙所の整備、個人情報漏えい対策、法務機能の強化

６　古谷　靖彦　議員（日本共産党）

前市長のパワハラ問題への取り組み、物価高騰の市民生活への影響、防災対策の強化、ヘイトスピーチ、学校トイレでの生理用品の設置、ノース・ドックの大幅な基地機能強化

７　大桑　正貴　議員（自由民主党）

市長の政治姿勢、横浜市中期計画2026～2029、市役所組織のあり方、財政基盤強化と経営資源の重点配分、稼ぐまちづくり、インフラ老朽化対策と持続可能な都市経営、下水道による浸水対策、建設業の働き方改革など公共工事の着実な推進、横浜の魅力を高めるみどり施策、生見尾踏切の安全対策、中学校給食、福祉施策の方向性、横浜市における産業政策

８　山田　桂一郎　議員（地域政党よこはま）＜12分＞

不明水対策、敬老パスの更新手続き変更

９　太田　正孝　議員（自民無所属連合）＜６分＞

スタジアムの運営、マリンタワーの管理委託、市大財産の貸付、市長の政治姿勢

10　井上　さくら　議員（井上さくら）＜６分＞

市長の政治姿勢（ハラスメント、コンプライアンス、市民への向きあい方ほか）、山下ふ頭再開発、国際園芸博覧会［GREEN×EXPO 2027］、中学校給食

11　斉藤　達也　議員（斉藤達也）＜８分＞

市政の正常化と市役所改革、12の政策の具体化と中期計画、横浜市の厳しい財政状況、ＩＲに代わる大胆な財源確保策と「稼ぐ横浜」、宿泊税と滞在型観光の推進、ナイトタイムエコノミーの推進

12　輿石　かつ子　議員（輿石かつ子）＜２分＞

予防接種事業

13　荻原　隆宏　議員（横浜の風）＜５分＞

健全な二元代表制、前市長によるパワーハラスメント被害者の救済、市立中学校デリバリー給食の衛生管理

14　田中　ゆき　議員（田中ゆき）＜８分＞

閉鎖したウェブサイトの管理、放課後キッズクラブにおける児童への性暴力防止対策の取組強化、ＤＶ・ストーカー被害者の選挙権行使、ペロブスカイト太陽電池の実用化・研究開発支援

15　長谷川　えつこ　議員（長谷川えつこ）＜７分＞

円海山周辺地区の自然環境保全、インバウンドに対する取組と世界に発信できる横浜ならではのコンテンツ、人口構造の変化を見据えた市政運営と子育て・出産支援の強化

＜　　＞は質問申告時間